

（2）未  
引  
揚  
沖  
繩  
人  
所  
在  
安  
否  
調  
査

RK'-0002

0364

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



主信	6	9	8	發信用執務用印
附 甲				
乙				
丙				
丁				
備考	K'3.3.0.2 K'2.2.1.4			
公 信 案				
外 務 省				
文書課長				
文書課發送日	昭和廿九年零月拾七日			
管 人 事 課 長 署 名 件 先付送写	昭和廿九年九月六日			
人合第 五 年 九 月 六 日	昭和廿九年九月六日			
件 名 沖 縄 出 身 者 の サ イ バ ン 島 に お け る 消 息 調 査 の 件  依 頼	昭和廿九年九月六日			
本籍 沖縄縣	昭和廿九年九月六日			
南洋庁管下サイパン郵便局在勤通信事務員大元	昭和廿九年九月六日			
記帳	昭和廿九年九月六日			

公 信 案				
外 務 省				
文書	正校(原稿) 清書			
名件登記	昭和廿九年三月十五日起草			
名 人 信 發	昭和廿九年三月十五日			
16 151	附属			

關係資料について調査致しましたが、本人に関する資料なく遺憾ながら結果不明なる旨回答致します。  
追て、該籍謄本一通は同封返送します。  
貴意承付。

RK-0002

0366

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

公 信 案

外 務 省

RK'-0002

おろため家族はサイパン戦において殉職死亡したものと推定している趣につき申し添えます。

公 信 案

外 務 省

0367

宜味朝秀の家族より同人の消息調査に關し沖縄琉球政府社会局を逕由し當局に願出があつたところ、貴殿は終戦前後同地郵便局に在勤せられたものと思料されりにつき、本人の消息に關し御承知なれば、その状況をなるべく詳しく述べ頗煩わしく御依頼します。なお、本人は昭和十九年一四月頃南洋より

支那一高院又

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

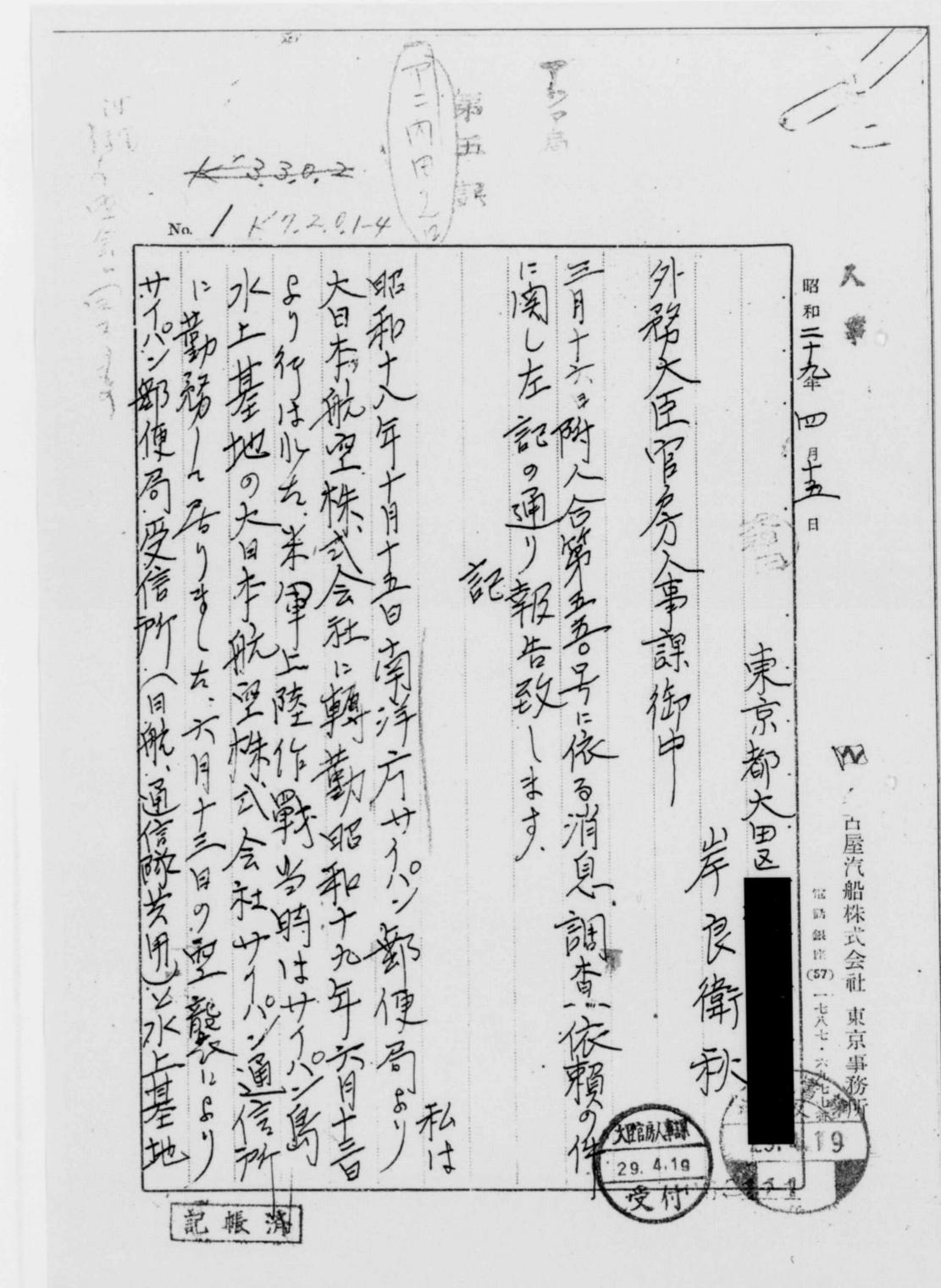
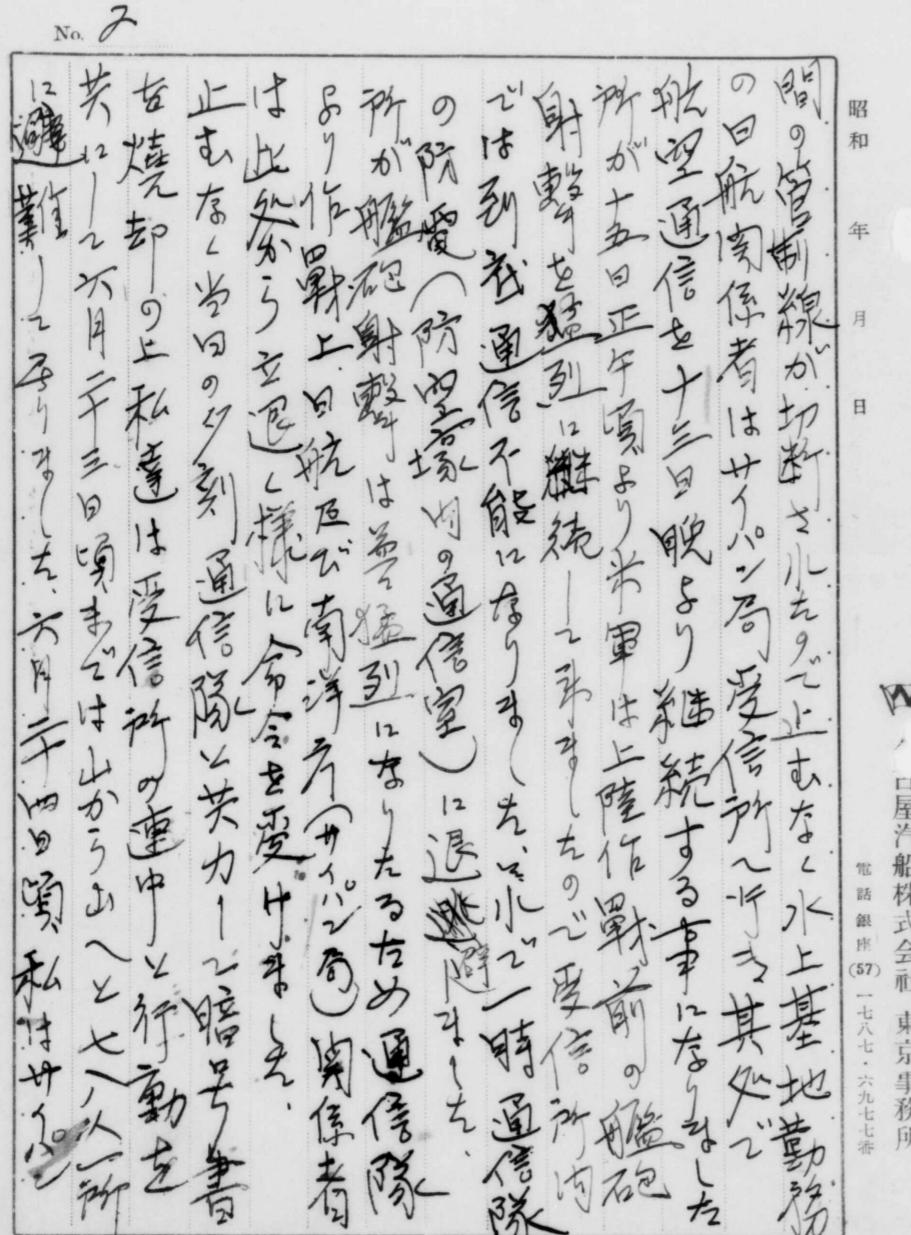
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RK'-0002

0368



外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

昭和 年 月 日

名古屋汽船株式会社

郵便局の送信所の旅館技術と英ノドンニー(サイパン島の)  
水源地へ行きましたが其處も幾夜の間は破壊と  
水争ひたので陸側の山へ退避しました。旅館技術  
も其の後何回か来てしたが全く不明になりました。  
何しろ四六時紀砲射撃を七夕の夕方六時半より  
七時頃まで、向半艦が一寸リーフから少し沖の方へ  
移動する向むけ、射撃を中止する間を小利用  
して陸難民供水や入食を擇す信の丸の夜二三十分  
の進路を珊瑚礁を上りて途中射撃を受ける米軍  
ハバコク号は南洋諸島の防護の下に  
ナウルの佐武が沃山避難し、ナウル島を去るが其邊も艦砲  
強烈な火災で大炎柱高湯があつた  
人高湯と云ふ大炎柱高湯があつた

昭和 年 月 日

名古屋汽船株式会社

其の内数百人の住民が焼死しましたが船頭は  
が命を惜しまず、手の裏で破裂した船頭と金城一吉  
船頭を獨り残して戦前十万近くの住民が左万数人者が生存  
者たゞ市兵隊は十万人住民へど死んでゐる話を  
何人も多作あります私も自分の體の仕事は國つた結果  
いたが、左の二つありますと軍人も民間人も毎日  
水と食糧を探すのが大変で田舎は窮屈の為に水を  
擰り上げてもまだ行先不明にならず左人が多くいます。  
二人が状況下で廿人の人も喪失したが其の話が今は交換抗議書  
等の最前所郵便局若林代官署死んでおたるるあり  
引揚連絡(日本に郵便局の請求)は確実にござり

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

昭和年月日  
名古屋汽船株式会社  
ましろが其處にし船砲が命中して金部やう水と  
因ひまし左が運良く不発で其の時は皆助かりを  
たすか御幸いますか其の後は不明です。  
次に七月七日頃と記憶しますが郵便局の若い  
事務員（名前不明）がサイン最後の場所第三飛行  
場附近で一日折に寄りまく左が彼は片手を  
負傷して孕みした理由を尋ねてたら、昨夜  
郵便局員サイパン支那局某の代理官、宮崎信者  
が若く連中捕らえ井倉へ交換せりと左の  
自分は最初の戦車砲で大いに負傷するも氣絶  
しおちた。自分が蘇ると朝四時頃まで誰も居ない  
ので引揚げて歩きながら外の連中は金部やう水と  
の金子不明との話をし始ました。

昭和年月日

名古屋汽船株式会社

No. 6  
御尋ねの大宜味君も未だ若いくつも元気な男でした  
から其の中一軒に居りまく左が少し考へる水とすが  
其の事務員も其の後自決をしてそのか隙つて未だ  
の金子不明です。それから私は海軍を廻つてから  
(サンバウ)は何とか一回つて厚一ぱい水を飲んでから  
まだ少し歩きを寄り、金子もまだあると左の小  
舟が海岸にはサンバウのあり最後を永久に左の小  
舟のうちと考へて被り山洋水と海軍はまだある  
には自分古ら現実二三事半が少しうるのを思ひ  
と左の其の後山からく離れて船頭を七月二十四日  
アミハリ付近で死んでゐる所を左の左の

RK-0002

0370

RK'-0002

0371

主信	1 / 2	發信用執務用
附		
甲		
乙		
丙		
丁		
備考	K'7.2.0.14 K'3.02	
懸案		
アジア局第二課長		
文書課長	文書課送受	文書課發送日
		昭和廿九年五月七日
件名	先付送写	文書課長
アジア局長	アジア局長	アジア局長
沖縄那覇市	沖縄那覇市	沖縄那覇市
琉球政府社会局援護課	琉球政府社会局援護課	琉球政府社会局援護課
恩給係	恩給係	恩給係
件名	件名	件名
サイパン島における沖縄出身者の消息調査に関する件	サイパン島における沖縄出身者の消息調査に関する件	サイパン島における沖縄出身者の消息調査に関する件
依頼がありつた沖縄出身者大宜味朝秀の件	依頼がありつた沖縄出身者大宜味朝秀の件	依頼がありつた沖縄出身者大宜味朝秀の件
二月十二日付琉社援号外貴信をもつて調査中	二月十二日付琉社援号外貴信をもつて調査中	二月十二日付琉社援号外貴信をもつて調査中
外務省	外務省	外務省
記帳	記帳	記帳
6	65	6

No. 7

当時の事情は一年か、つゝも筆告出来ませんが  
簡便單より右報告致します。

尚都便關係者は八丈島へ経営後村口英夫  
氏と横須賀へ柏木まつわさん(即ち太から  
氏)は何か多忙であるかも知りませんが、私と之  
は當時の事情を考へますと中々困難な事と  
遇りました。今迄十年ばかり生じたが  
せりと別へ靈塲(モロハシ)は小石川へ私達さん  
島に居る皆の切望する所で御座ります。私は  
今海上生活をしておりますので大矢報告が遅れ  
ます。左事は御禮申します。

内屋汽船株式会社 東京事務所  
電話銀座 (57) 一一七八七・六九七七番

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RK'-0002

0372

外島 消息に關し、当省保管の関係  
資料につき調査したが、本人に關する資料  
がないので、當時同郵便局に在勤してつた  
者に對して別紙算の通り照会したところ、  
別紙算の通り  
岸良衡秋 かうのうち こうしゅう あつたれりて通報する。すま。  
固答 かくとう 詳細不明  
えいさいふめい  
高以外 たかほか この回答は手にて印了承相成りた。  
追つて貴信添付の戸籍謄本を用封込送す。

公 信 案

外 務 省

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan